

近畿中国局フォレスターNEWS

再造林に向けたシカ被害対策（局・岡山森林管理署・森林総合研究所関西支所）

11月7・8日、岡山県新見市において、近畿中国森林管理局と森林総合研究所関西支所との共催により、現地検討会を開催しました。管内府県の自治体職員・研究員や林業従事者等から延べ140人が参加しました。

近年、シカによる森林被害が深刻で、伐採後の再造林に大きな支障となっていることから、「再造林に向けたシカ被害対策」をテーマに、低コストの防護柵や効果的な捕獲、捕獲後の処理等の技術を一体的に紹介し、意見交換を行いました。

具体的には、アニマルネットを活用した低コストの防護柵、ドローンによる防護柵点検、初心者でも簡単に効率よく捕獲できる小林式誘引捕獲法の実演、そして、埋設処理後の環境への影響などを紹介しました。また、シカ個体の処理技術として、真庭市からジビエカーを活用した鳥獣対策の取組を紹介していただきました。

参加者から「座学と現地での実演がとても良かった」「シカの基礎的な知識が学べた」などの好意的な意見がある一方で、「防護柵の点検・補修の歩掛」「積雪地域でのシカ被害対策」「シカの生息密度との関係」などについて、もっと詳しく知りたかったとの貴重な意見が出されました。

2日間という限られた日程でしたが、シカによる生態系や農林業に及ぼす影響が深刻化しつつある中で、管内府県の担当者・事業者等の関心も高く、民有林への技術支援として大きく貢献できたのではないかと考えています。引き続き、地域のニーズに応じた、現地検討会となるよう取組を進めます。



講演内容の様子



アニマルネットの防護柵の説明



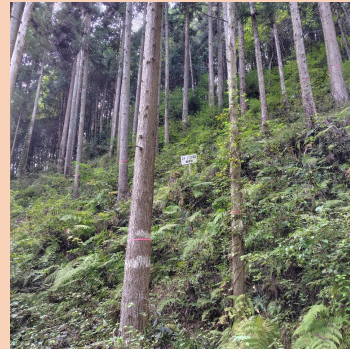
ドローンによる防護柵点検の実演

低密度植栽試験の見学会（広島県：新元重山国有林）

滋賀森林管理署は10月17・18日、滋賀県地域林政連絡会議の一環として、県の普及担当職員とともに、広島県福山市の新元重山国有林にある低密度植栽試験を視察しました。

滋賀県では、主伐後の再生林に向けて、低コスト造林の検討を進めており、今回の視察は低密度植栽の知見を広げるために企画したものです。

現地では、スギ、ヒノキそれぞれ、1000本/ha、1500本/ha、2000本/ha、3000本/haの植栽地を見て回り、立木の間隔や立木の生育状況を確認しました。参加者からは「低密度植栽は言葉だけは知っていたが、実際に現地を見ることができ大変参考になった」との声がありました。



試験地：スギ2,000本区



新元重山：現地視察

伐倒、集造材等作業の見学会（京都大阪森林管理事務所）

京都大阪森林管理事務所は11月22日、大阪府箕面市の箕面国有林において、京都府、大阪府の林務担当者を対象に、伐倒、集造材等作業の見学会を行いました。

府内での森林整備事業の発注を機会に、森林作業道と高性能林業機械を用いた作業システムを紹介するとともに、伐採・集材が容易で安全性の高い列状間伐の説明後、意見交換を行いました。参加者から「実際の作業を始めて見ることができ、業務の参考になる」「国有林が民有林のモデルになるべき」との意見がありました。



森林整備事業（列状間伐）：伐採、集造材等作業

林野庁
近畿中国森林管理局
技術普及課



国民の森林・国有林

TEL : 06-6881-3524
Email:kc_fukyu@maff.go.jp
URL : <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>
〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

編集後記

令和6年度の林業普及指導員資格試験の結果が届いた。昨年は受験希望者も少なく、大変心配をしていたが、今年は多くの方が試験に挑戦し、筆記試験で7名、最終の口述試験も無事クリアされ、森林総合監理士6名、林業普及指導員3名（重複2名）が誕生した。限られた時間の中で、幅広いテキスト問題と闘いながら、資格をもぎ取った方々にお疲れ様と言いたい。